

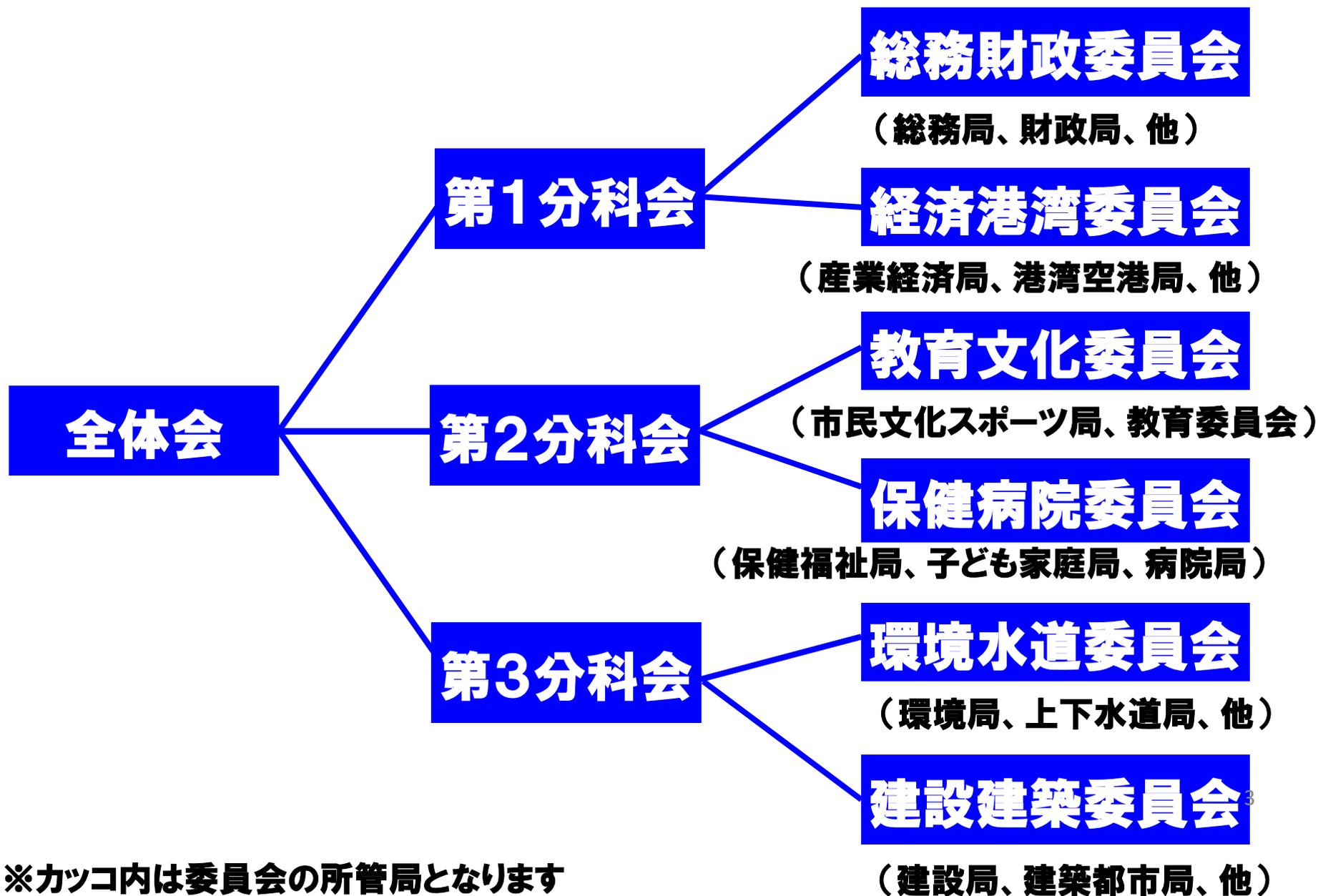
北九州市議会

第9回

議会報告会

開會挨拶

決算特別委員会の構成



※カッコ内は委員会の所管局となります

決算特別委員会 役職者

委員長 成重 正文 副委員長 浜口 恒博

第1分科会：主査 山内 涼成 副主査 奥村 直樹

第2分科会：主査 佐藤 茂 副主査 田中 光明

第3分科会：主査 村上 直樹 副主査 吉村 太志

第9回議会報告会 プログラム

1. 平成28年度決算の概要(成重正丈)
2. 第1分科会審査報告(山内涼成・奥村直樹)
3. 第2分科会審査報告(佐藤茂・田中光明)
4. 第3分科会審査報告(村上直樹・吉村太志)
5. 質疑応答
6. 意見聴取会

平成28年度決算特別委員会

決算の概要報告

報告者：成重 正文

○歳入・歳出について

（市税・地方交付税等）

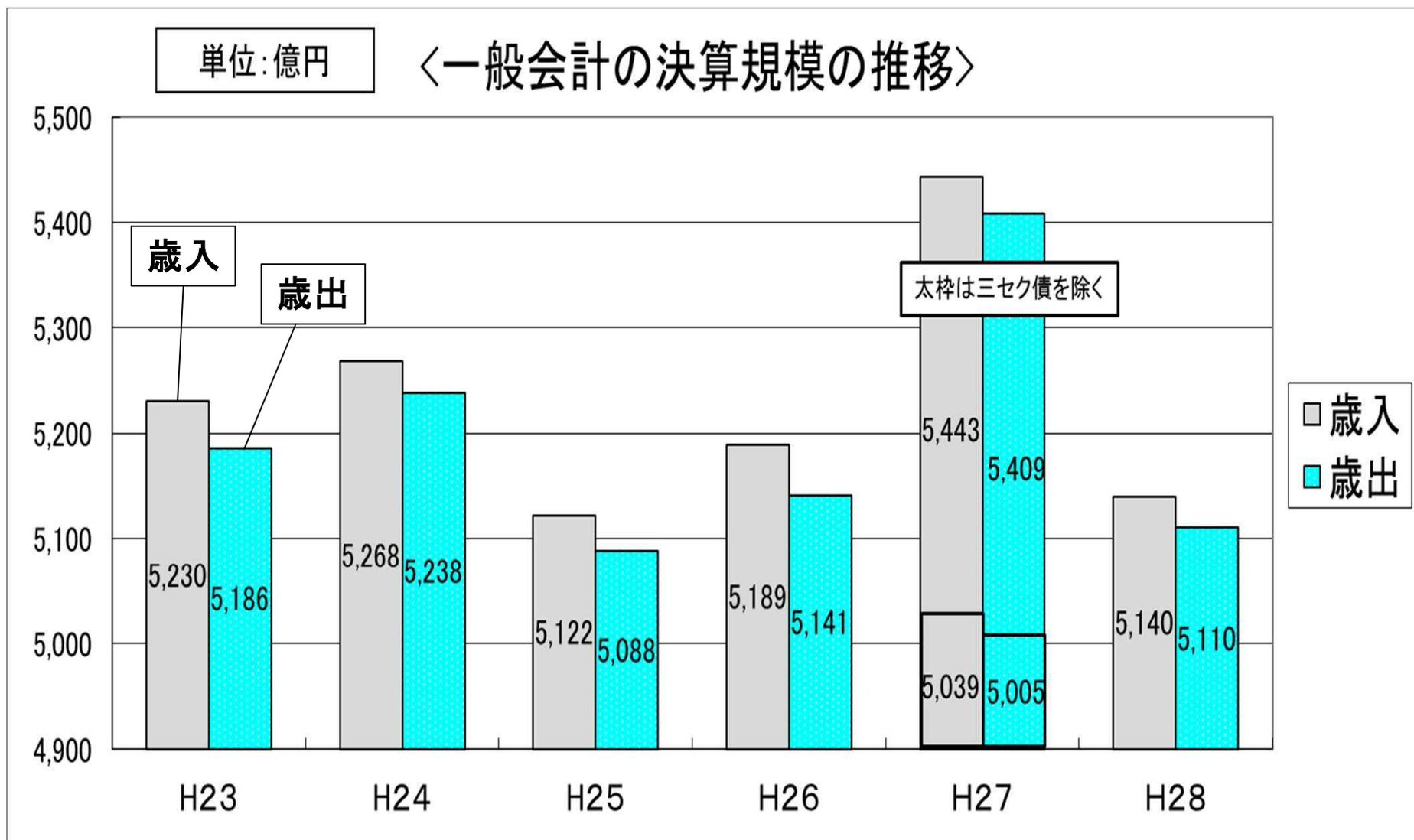
○市債発行額と残高について

○投資的経費と義務的経費について

○基金について

○特別会計と企業会計について

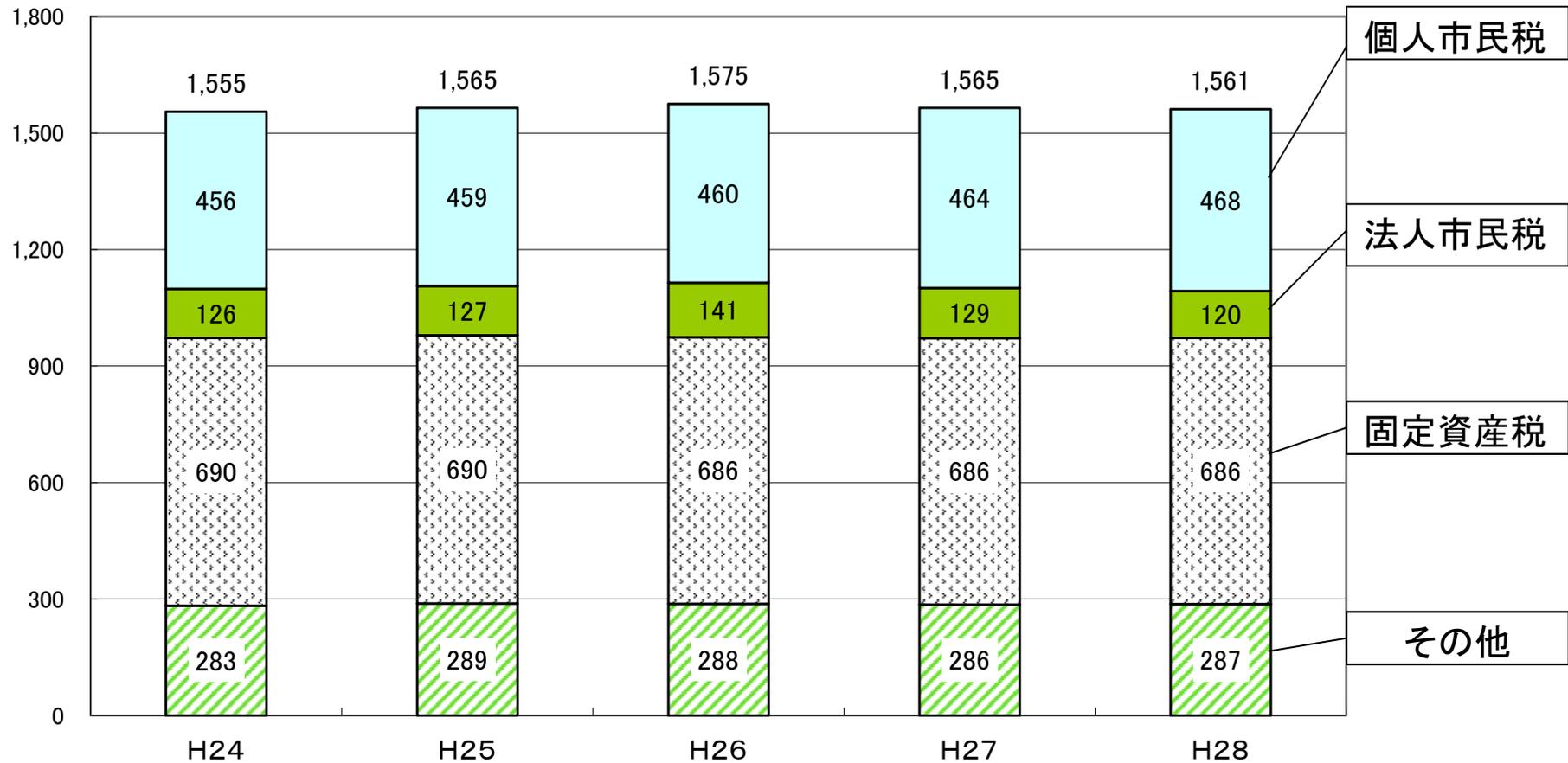
歳入・歳出について



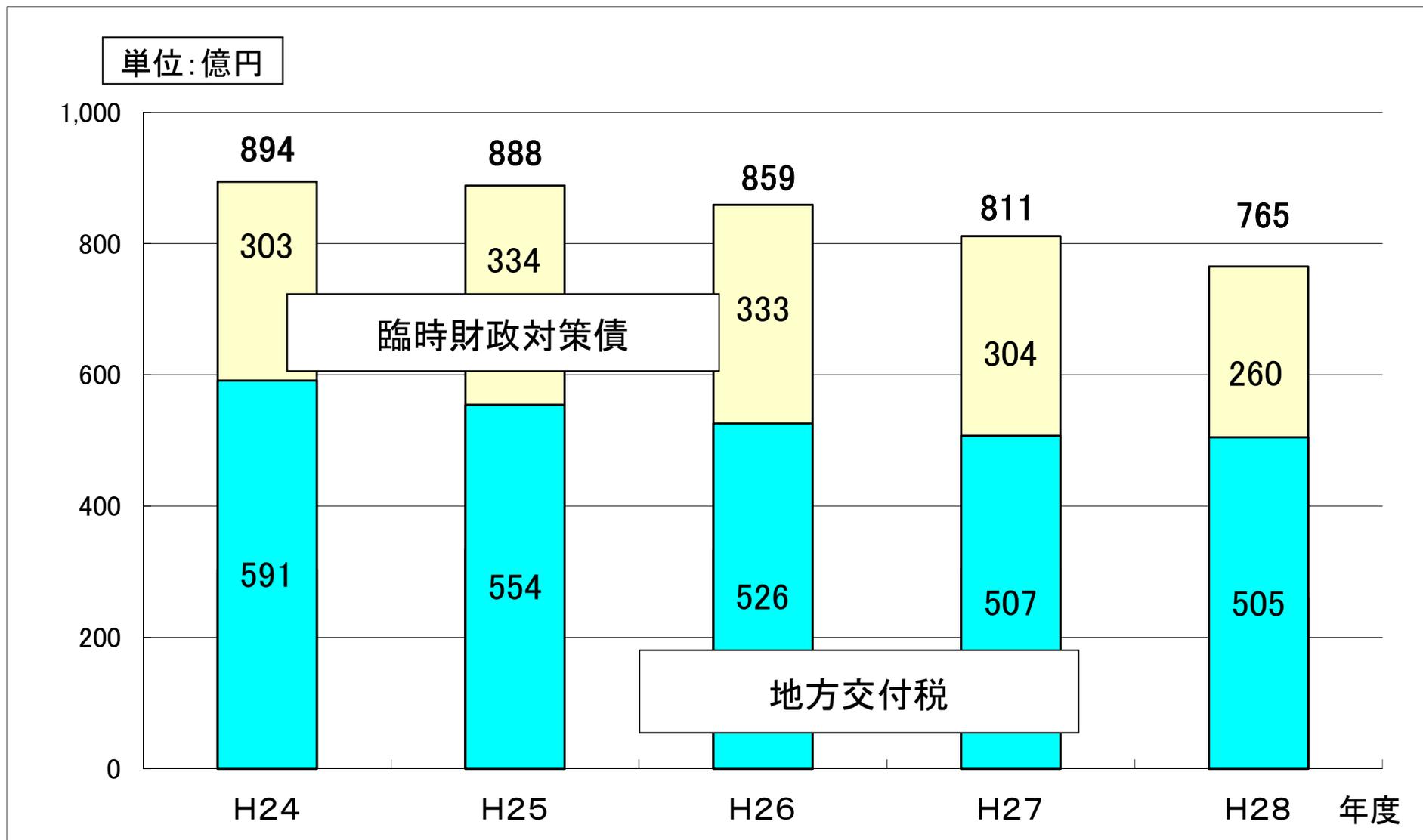
歳入・市税について

＜市税の推移＞

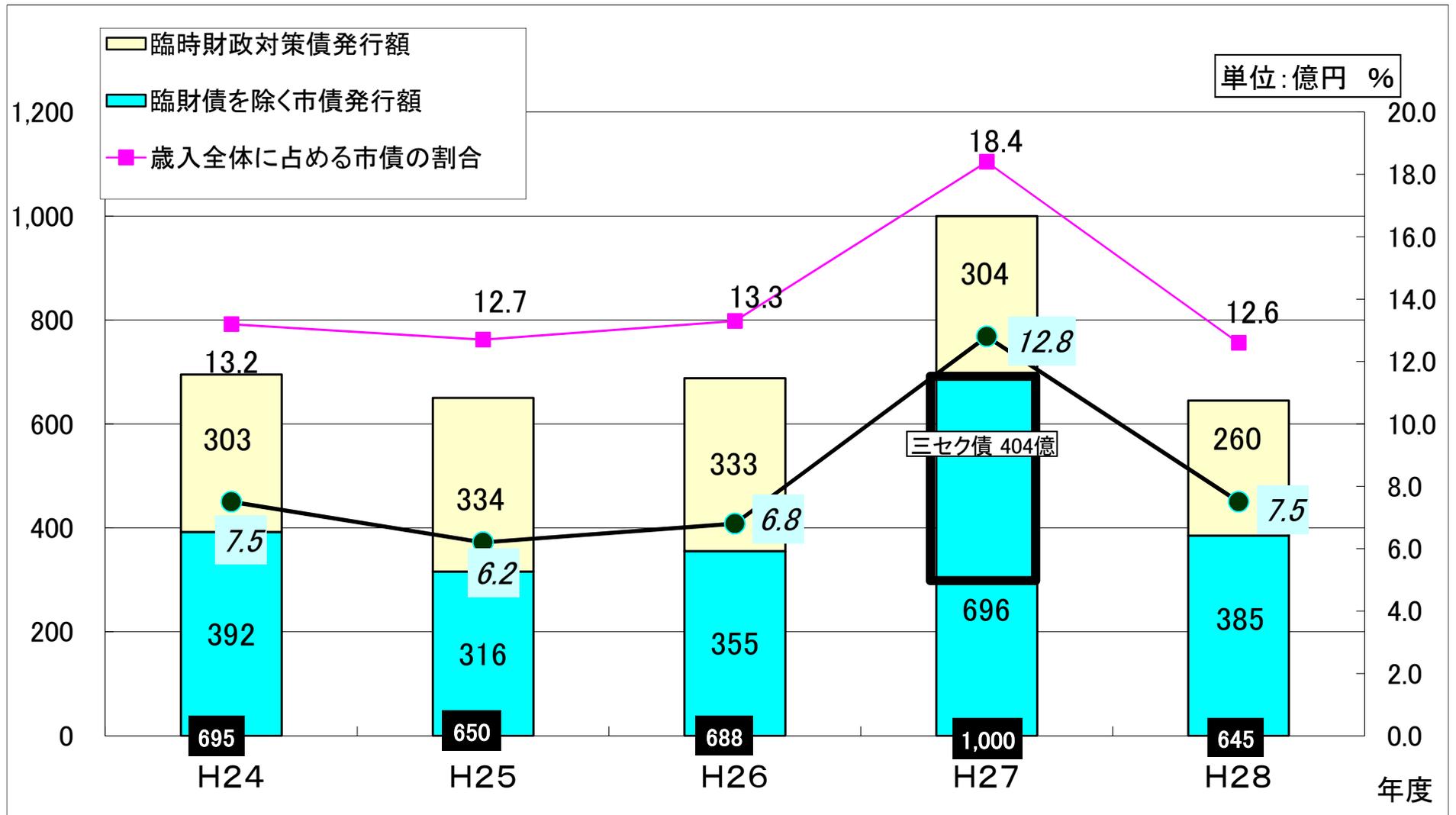
単位：億円



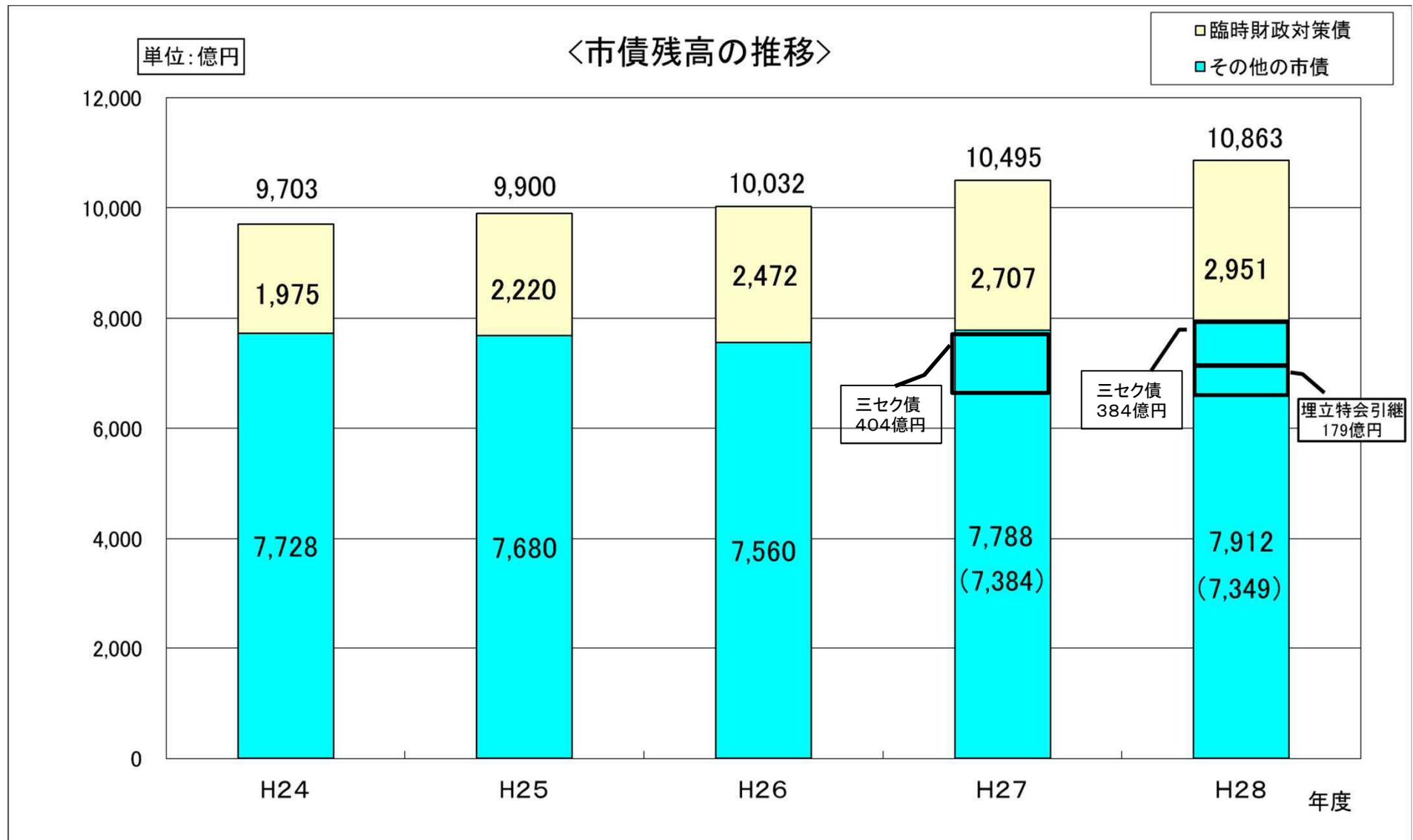
地方交付税等の推移



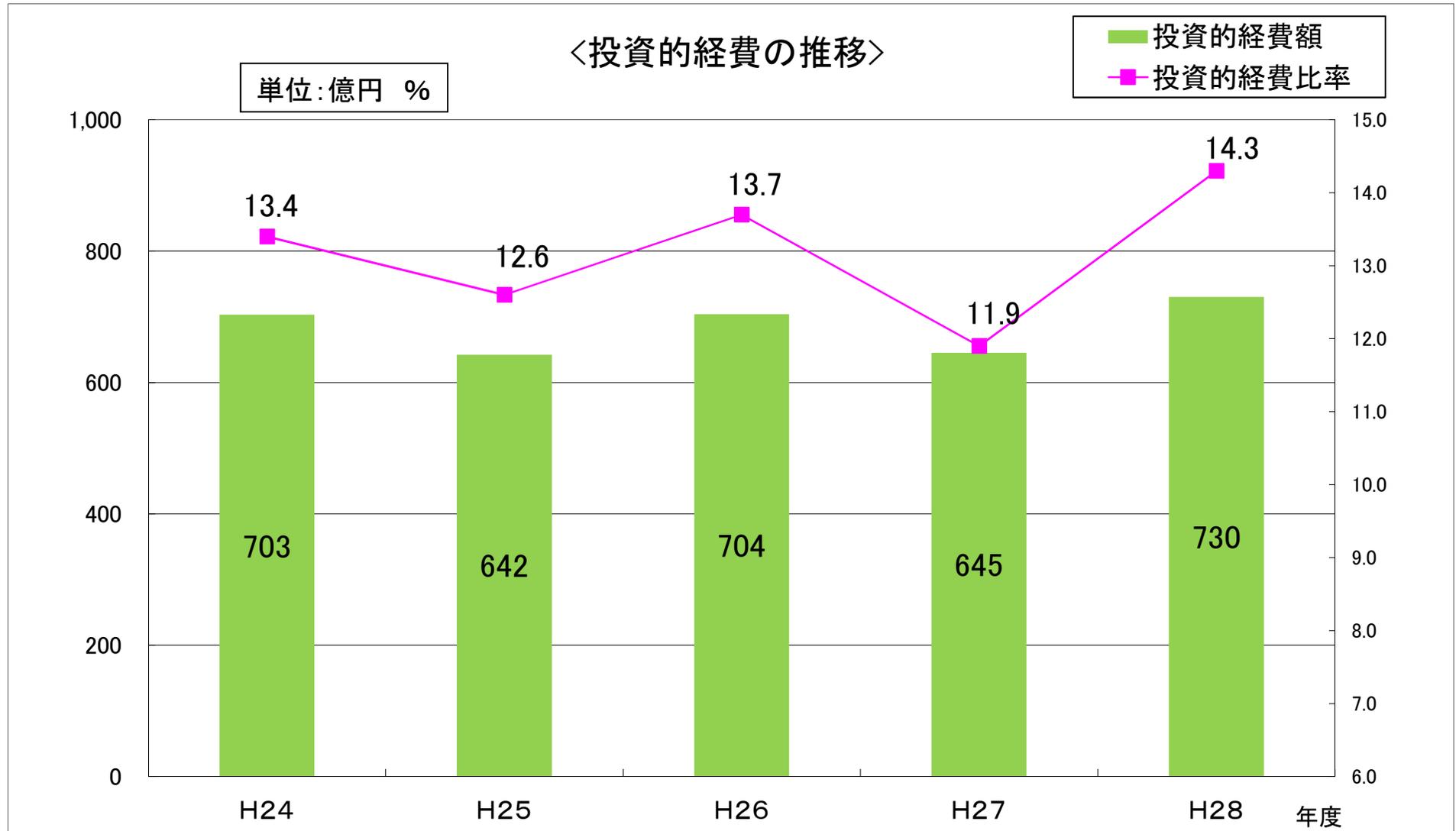
市債発行額の推移



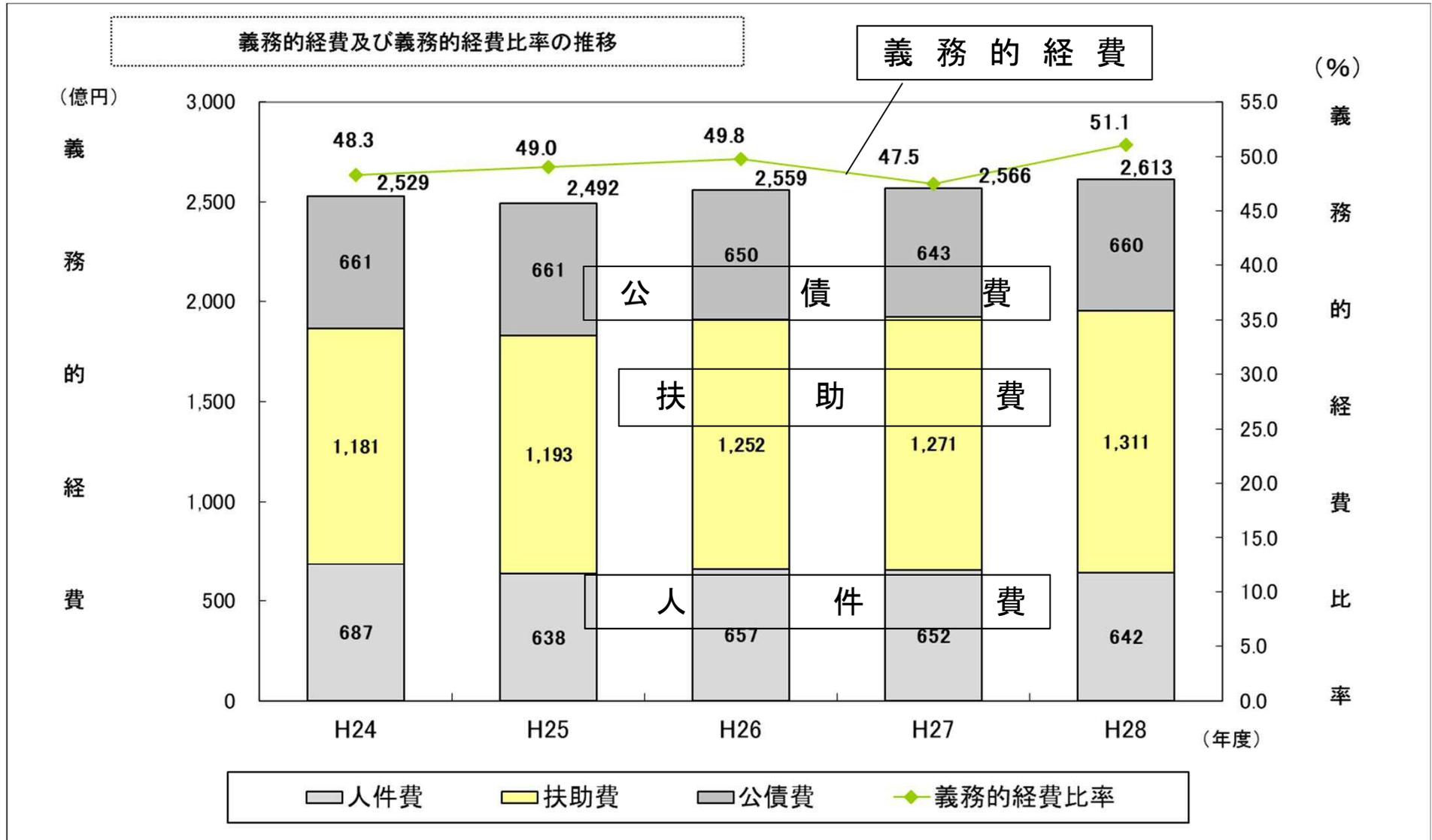
市債残高について



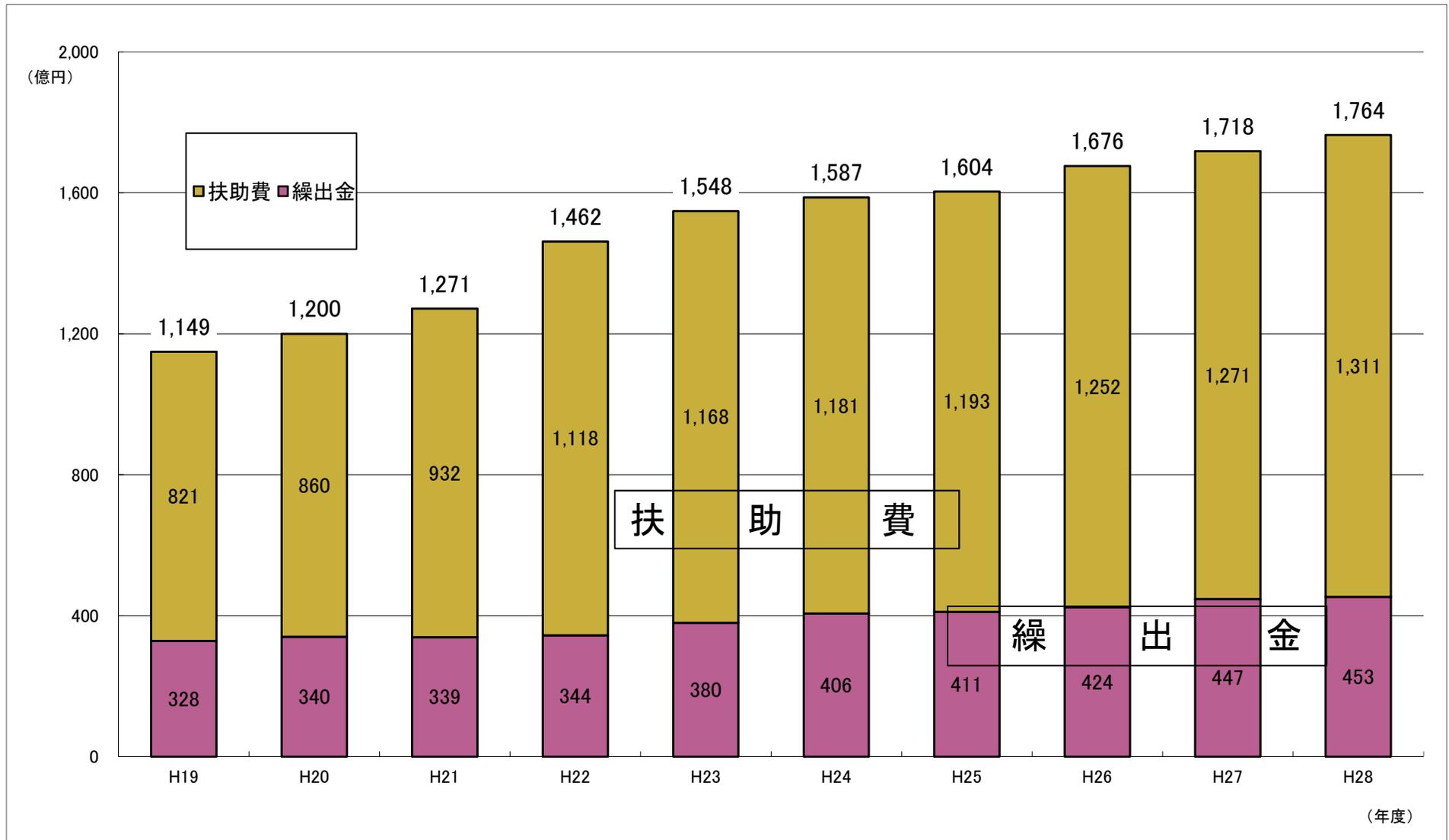
投資的経費の推移



義務的経費及び義務的経費比率の推移



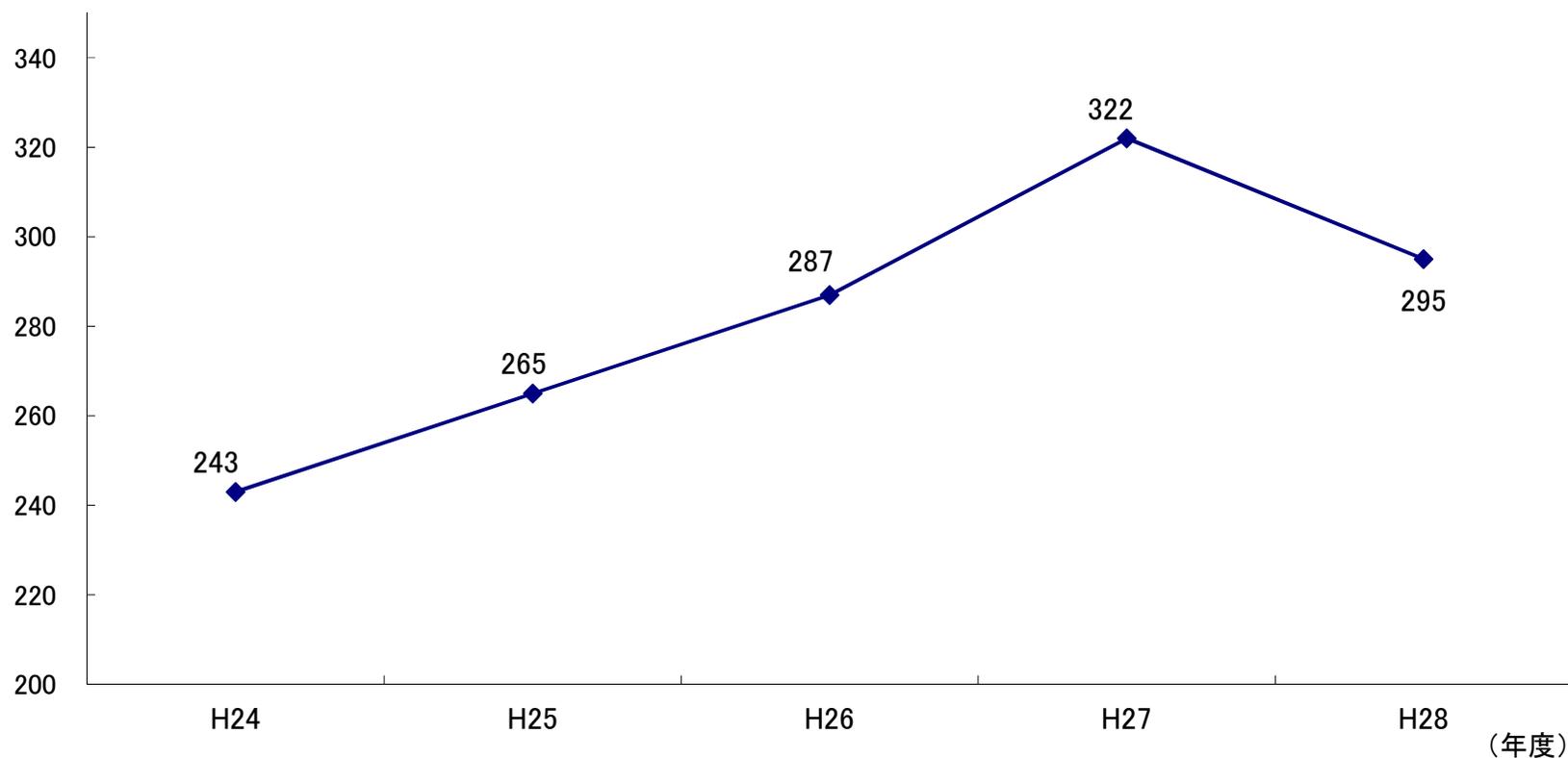
扶助費及び福祉・医療関係繰出金の推移



基金の残高の推移

〈財源調整用基金年度末残高の推移〉

(億円)



《 2 2 の特別会計 》

- 2 2 会計のうち、公債償還、土地取得、廃棄物発電の 3 特別会計が収支同額であり、残り 1 9 会計は黒字。

《 5 つの公営企業会計 》

上水道、工業用水道、下水道の 3 会計が黒字、交通、病院は赤字

平成 2 8 年度公営企業決算状況 (税込)

単位：百万円

区 分	上水道	工業用水道	交通	病院	下水道
損益収支	2,498	476	△32	△1,234	1,578
単年度実質収支	335	16	△82	△340	△162
平成28年度末資金剰余	5,600	1,775	1,565	3,377	2,931

平成28年度決算特別委員会

第1分科会審査報告

報告者：山内涼成議員・奥村直樹議員

- 1. 放置竹林対策について**
- 2. 若者の政策形成過程への参画について**

1. 放置竹林対策について

○本市の竹林面積は1905 h a

→ 市レベルでは日本最大

○ほとんどが放置竹林1740 h a

→ H14年当時と比較して500 h a
も増加



議員質疑の要旨

- 放置竹林の危険性の認識と課題克服について
- 竹の再利用、出口戦略として製品化の事業化を図るべきではないか

市長（局長等）答弁の要旨

- 農林業の振興(スギ・ヒノキ・タケノコ生産)
災害防止機能や水源かん養の低下など環境保全
- タケノコ生産竹林への転換補助・保全活動のNPO
への支援・竹の粉碎機貸し出し
- 大学・企業・森林組合と協力「竹繊維プラスチック」
排出事業者・バイオマス事業者・関係行政機関など
からなる「竹バイオマス活用勉強会」

議員の要望

- 竹材活用システムは今年で終了となるが、引き続き研究を進め事業化を目指すべき
- 県の森林環境税を放置竹林対策に使えるよう求めるべき
- 放置竹林の拡大のスピードに着目し、市長がイニシアティブを発揮してほしい

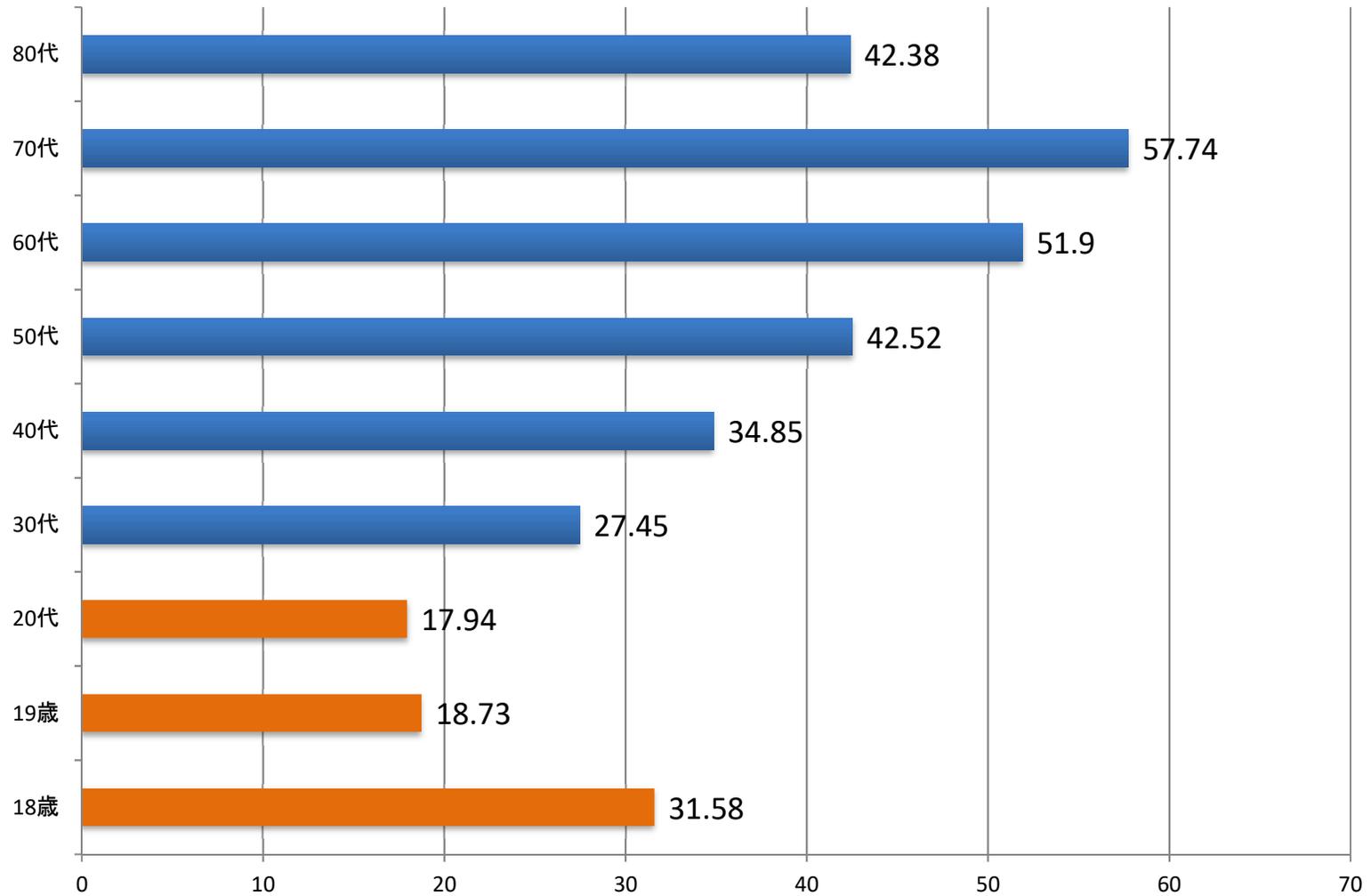
2. 若者の政策形成過程への 参画について



質疑の背景

- 平成28年より、選挙権年齢が18歳に引下げ
- 本年1月29日の北九州市議会議員選挙では、若者の投票率が低い結果に

平成29年北九州市議会議員選挙の年代別投票率



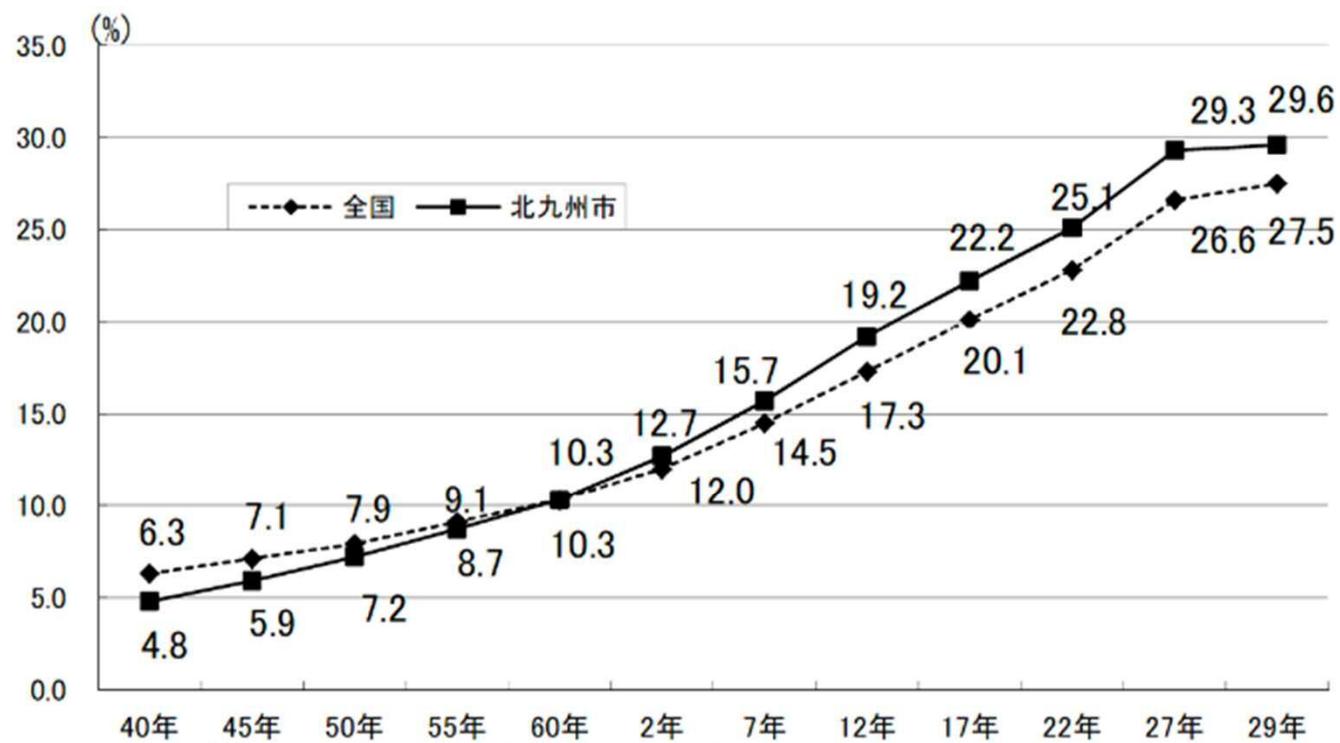
質疑の背景

- 平成28年より、選挙権年齢が18歳に引下げ
- 本年1月29日の北九州市議会議員選挙では、若者の投票率が低い結果に
- 急速に進む少子高齢化による社会の沈滞化

2 高齢者人口・高齢化率

(1) 北九州市と全国の比較

ア 高齢化率の推移



【出所】平成27年までは総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

平成29年は、北九州市が住民基本台帳（平成29年3月31日現在）

全国が総務省統計局「人口推計 平成29年4月1日現在（概算値）」

議員 **質**疑の要旨

(1)本市のさまざまな分野の会議に、次代を担う子供や若者の意見が反映されるような委員構成を検討していくべきではないか？

(2)市議会がより身近に感じられるよう市議会本会議場を使用して、これまで以上に若者議会を開催するなど、若者の意見を取り入れた政策形成過程の構築に取り組むべきではないか？

市長 **答**弁の要旨

○市政運営や政策立案において、さまざまな世代の意見を反映させることは大変重要

○「付属機関」や「市政運営上の会合」に幅広く選任している

北九州市国民保護協議会 北九州市民生委員推薦会 北九州市公設地方卸売市場取引
北九州市防災会議 北九州市介護サービス評価委員会 北九州市中央卸売市場取引委員

【20代～30代の参加】

「付属機関」

具体的な事例・・・

付属機関である

国民保護協議会・防災会議・環境審議会
・迷惑行為防止推進協議会への大学生の参加など

22会議、86人

博物館協議会 北九州市環境影響評価審査会 北九州市教育支援委員会
北九州市社会福祉審議会 北九州市中央卸売市場等開設運営委員会 北九州市立図書館協議会
北九州市社会福祉法 北九州市新成長戦略会議

会議参加者の声



担当部署の職員

幅広い世代の意見を施策に反映
させることができた

参加した若者



まちづくりに参加できて、自分の
世界が広がった

【若者の付属機関等への参加を 促すための取組み】

- 北九州市立大学では・・・
 新入生約1,800名に向けた啓発
- まちづくりイベントでは・・・
 参加者約500名へ**パンフレット**配布
- 各局の**総務担当課長**会議での周知徹底

議員 質疑の要旨

(1)本市のさまざまな分野の会議に、次代を担う子供や若者の意見が反映されるような委員構成を検討していくべきではないか？

(2)市議会がより身近に感じられるよう市議会本会議場を使用して、これまで以上に若者議会を開催するなど、若者の意見を取り入れた政策形成過程の構築に取り組むべきではないか？

市長 **答**弁の要旨

○まちの将来を担う若者のまちづくりへの参加は大変重要

○平成22年に自治基本条例を施行し、市民の参画によって多様な意見を市政に反映している

【特に若者の意見を反映した近年の事例】

- 「地方創生総合戦略」
→地元企業等と連携したインターンシップの拡充
- 「文化振興計画」
→市民が文学を身近に親しむ森鷗外旧居でのカフェ開催
- 「環境基本計画」
→環境審議会に大学生が参加
- 「タウンミーティング」
→少年少女国連大使の高校生や世界的に評価されている
ごみ拾いの活動組織「グリーンバード」の大学生による
リレートークの実施

【若者がイベントなどに携わった主な事例】

- 「北九州文学サロン」・・・

大学生が文学に親しむイベントを
継続的に企画、実施

【若者がイベントなどに携わった主な事例】

- 「北九州ゆめみらいワーク2017」・・・

大学生が企業の制服ファッション
ショーや企業出展ブースのPRなど
を企画、実施





【若者がイベントなどに携わった主な事例】

- 「(仮称)北九州市学園祭」・・・

11月下旬に東京にて北九州市出身の大学生などが中心となって、本市の魅力を発信するイベントを企画





【若者がイベントなどに携わった主な事例】

- 「こくらハロウィン」・・・

毎年10月開催、パレードや仮装コンテスト、ファッションショーを大学生など若者が企画、実施





【若者がイベントなどに携わった主な事例】

- 「西南女学院大学の学生サークル」・・・

ミクニワールドスタジアム北九州での
女性向けのヨガイベントを企画、実施

【本会議場を活用した事業】



- 中学生がまちづくりの提言を発表する「北九州ドリームサミット」(北九州青年会議所主催、本市共催)

※今後も若者が市政に興味を持って、政策形成過程に関わる機会を確保するよう努力する

議員 再 **質**疑の要旨

- 若者の政策形成過程への参画について、若者の参加意識を高めていくためには、会議の結果をより多くの若者に向けてフィードバックすることが大事ではないか？

企画調整局長 **答**弁の要旨

○審議会等での議事録をホームページ上などで公開

○まちづくりに関する若者の意見や参加事例を、参加していない若者に届けることは重要

○情報交換に効果的なSNSなど、若者にマッチした方法を研究していく

議員の要望

○若者の意見を取り入れることで、若者がふるさと北九州市に対しての誇りや愛着を持ち、若者の定着に繋げるため、積極的に取り組んでいただきたい

平成28年度決算特別委員会

第2分科会審査報告

報告者：佐藤茂議員・田中光明議員

1. 北九州マラソンについて

2. 正規教員の割合の向上について

1. 北九州マラソンについて

議員質疑の要旨

北九州マラソンにおける

(1)大会の経済波及効果について

(2)全国評価ランキングの結果を踏まえた課題と
改善策について

(3)ふるさと納税枠の新設について

市長（局長等）答弁の要旨

【経済波及効果】

- ・ マラソン大会の実施は、ランナーなどの宿泊費、飲食費、グッズ購入費など、大きな経済波及効果が期待できる。**
- ・ 第1回大会終了後の調査では、市内で約10.5億円の経済波及効果が算出された。**
- ・ 第2回以降は調査を行っていないが、同程度の効果があったものと考えており、次回大会後に、改めて調査を行う予定である。**

【ランキングを踏まえた課題と改善策】

- ・ 本大会は、スタート及びフィニッシュ会場がJR小倉駅から近いことに加え、走りながら北九州らしい風景を楽しめるなど、恵まれたロケーションやとぎれることのない沿道からの応援が、好評を博している。**
- ・ 今後の大会に向けては、スタート直後の走路混雑の解消や、給食サービスの充実などを予定している。**

【ふるさと納税枠の新設について】

- **第3回大会より、参加料のほかに3万円の寄付を行うことで、抽選を経ず出走できる「スポーツ振興ランナー枠」を設けている。**

この枠は、ふるさと納税と同様、寄付金控除の対象となっており、前回は定員300人の内、約4割が市外からの申込みとなっており、回を重ねるごとに認知度が高まっている。

- **また、寄付金は北九州マラソンをはじめとする市民スポーツの普及や振興などに活用することとしている**

【まとめ】

今後とも、他都市の事例を研究するとともに、様々な課題の改善に努めながら、新たな取り組みを行うなど、さらなる魅力アップを図ることで、全国のマラソン大会の中でトップの評価をいただけるよう努力していきたい。



議員の要望

本市にふるさと納税をした方が、マラソン大会への参加を希望する場合には、返礼品に加えて、先着順で出場できる特典の導入を検討してほしい。

2. 正規教員の割合の向上 について

議員質疑の要旨

- 教員4,902人のうち、非正規は611人。
8人に1人が非正規で、正規率を高めるべき。
- 教員の欠員は年間を通じて27~28人もいる。
最低でも代替教員は確保すべき。



資料

教員の正規・非正規の人数と割合

平成29年5月1日現在

	正規		非正規		計
	人数	割合	人数	割合	人数
小学校	2,418	88.8%	306	11.2%	2,724
中学校	1,418	91.2%	137	8.8%	1,555
特別支援学校	455	73.0%	168	27.0%	623
計	4,291	87.5%	611	12.5%	4,902

※正規割合の全国平均は、93.1%

教育委員会の答弁の要旨

- 教員の正規率は全国平均より低く、まずは9割程度を目指すべく検討している。
- 講師の未配置は最重要課題と認識し、講師確保に努めている。

議員の要望

- 欠員のため無理して働いている教員がいる。
勤務労働条件の改善、教員確保に今後も努力してほしい。
- 同一労働、同一賃金の観点から、せめて担任を持つ講師は正規にしてほしい。
- 非正規が多すぎることで、欠員が出る大きな原因である。正規率を高めてほしい。

平成28年度決算特別委員会



第3分科会審査報告

報告者：村上直樹議員・吉村太志議員

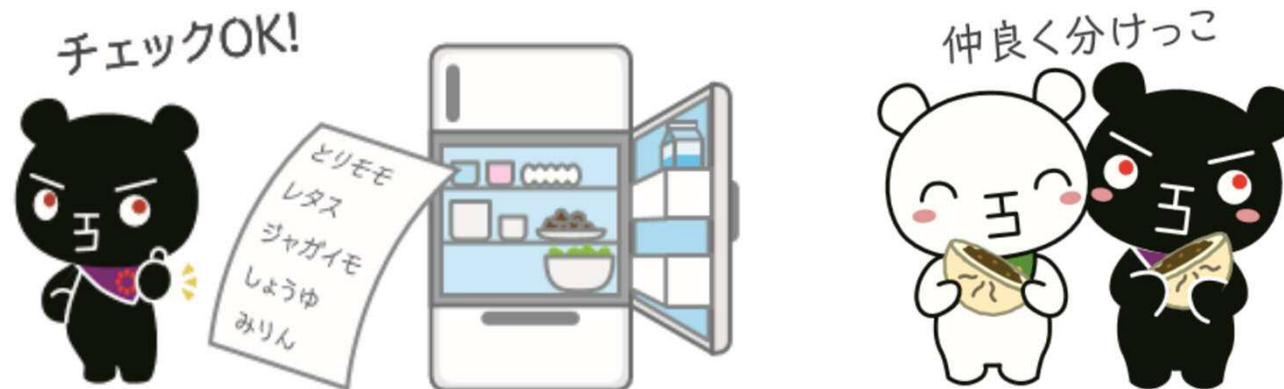


1. 食品ロスについて



2. がけ崩れ等の災害被害への対応について

1. 食品ロスについて



【議員質疑の要旨】

- 取り組みの成果と課題
- NPO法人による「フードドライブキャンペーン」の成果
- 食品ロスについての市民への情報提供
(食品ロスに特化したホームページの開設を)

【市長答弁の要旨】

●食品ロス対策

「北九州市循環型社会形成推進基本計画」

・抑制に向けたアクションプラン



残さず食べましょう



食べられる量だけ作りましょう



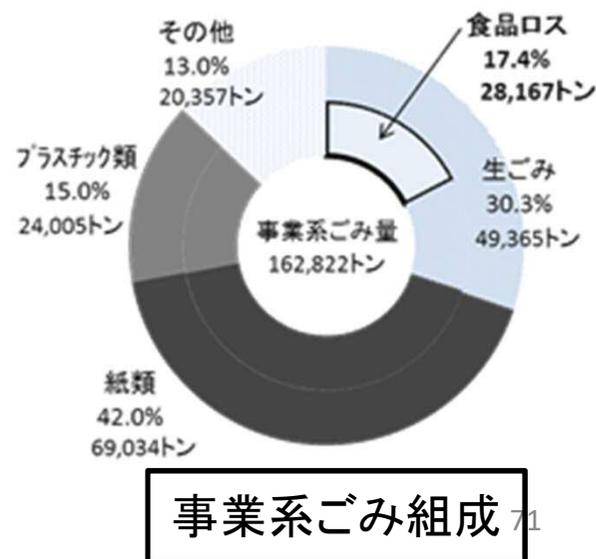
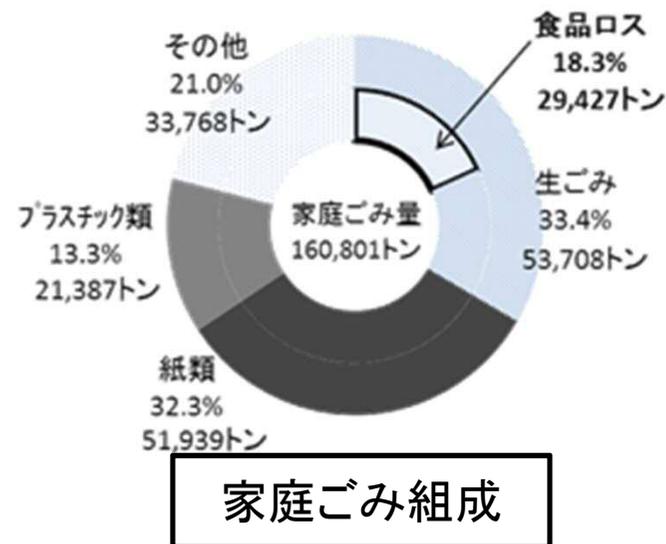
・実態調査

【市長答弁の要旨】

●実態調査から判明した課題

- 家庭ごみ 2.9万トン
- 事業系ごみ 2.8万トン

- 総ごみ量の約2割
- 家庭ごみ(食べ残し)
- 事業系(半数はスーパー等から発生)



【市長答弁の要旨】

●今後の取り組み(家庭)

アクションプランに基づき

1世帯当たり年間4万4千円のロスの周知

「使いきり・食べきり・水切り」

リデュースクッキング講座

紙芝居による読み聞かせ



リデュースクッキング

【市長答弁の要旨】

●今後の取り組み(事業所)

アクションプランに基づき

「残しま宣言応援店」

出前講演の実施

スーパー等の事業者との意見交換



【残しま宣言応援店の例】
来店者の希望に応じ食事の量を調整

【市長答弁の要旨】

● 目標値の設定

「北九州市循環型社会形成推進基本計画」

- ・H21年度比でH32年度までに
家庭ごみを約7%削減
事業系ごみを約8%削減

【市長答弁の要旨】

●NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン フードドライブキャンペーンの取り組みと成果

食品寄付ボックスの設置
(環境ミュージアム、市民センター 等)

缶詰、レトルト食品 約460kg 回収

児童養護施設など69カ所、生活困窮家庭59カ所
に提供

【市長答弁の要旨】

- 食品ロスに特化したホームページの開設
市民にわかりやすい形での情報提供を

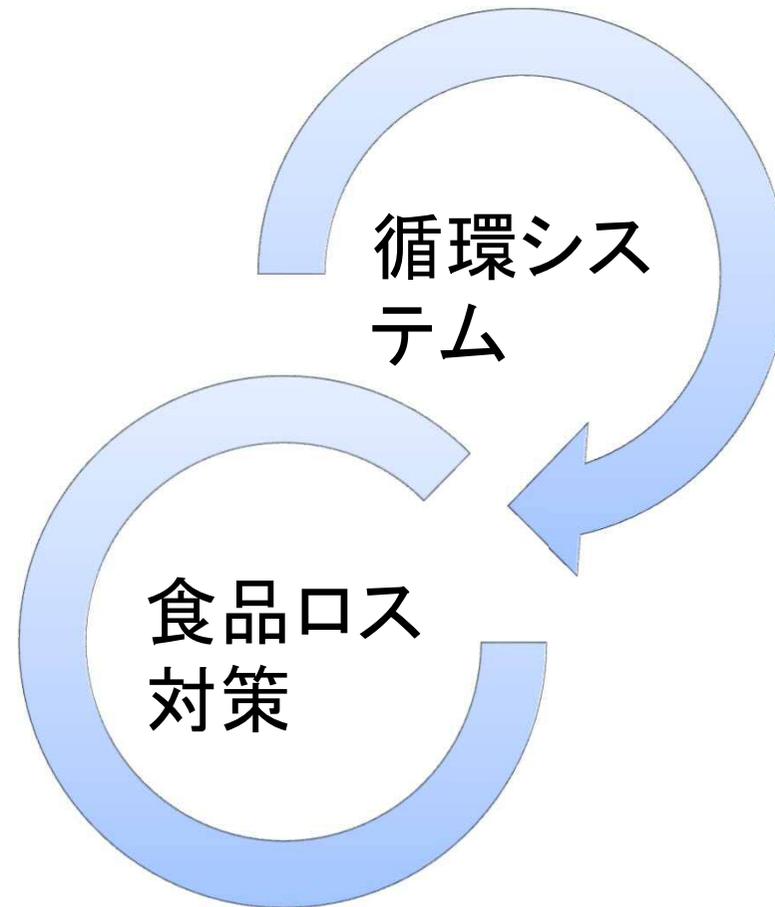
- まとめ

「もったいない」 ⇒ 広く周知

⇒ 全市的な運動へ



【議員の要望】



2. がけ崩れ等災害被害への 対応について



議員質疑の要旨



- 土砂を流出させた山林所有者がわからない場合の相談先は？
- 市道や公園が被害を受けた場合の費用は？
- 民有地の適正な管理指導方法は？
- 老朽空き家対策と同様に、本市の指針や計画を策定しては？

市長答弁の要旨

【相談窓口と対応状況】



各区役所で相談を受ける

法務局での字図や登記簿の閲覧

登記簿上の住所への文書送付

弁護士による「法律人権相談」を紹介

市長答弁の要旨

【復旧工事にかかる費用の請求】



道路法第58条

都市公園法第13条

- 原因者負担金として原因者が負担

市長答弁の要旨

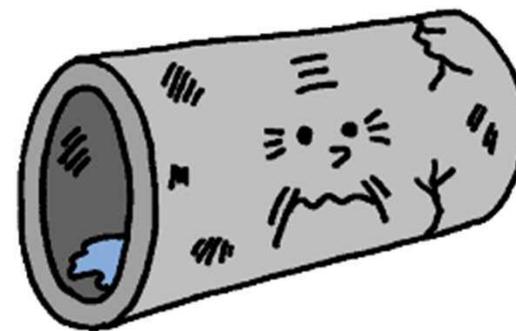
【不可抗力の場合の費用】



台風や地震

- 自然災害の場合は不可抗力として負担命令は行わない。

市長答弁の要旨



【隣接民有地の適正管理】

市が管理する公園や道路

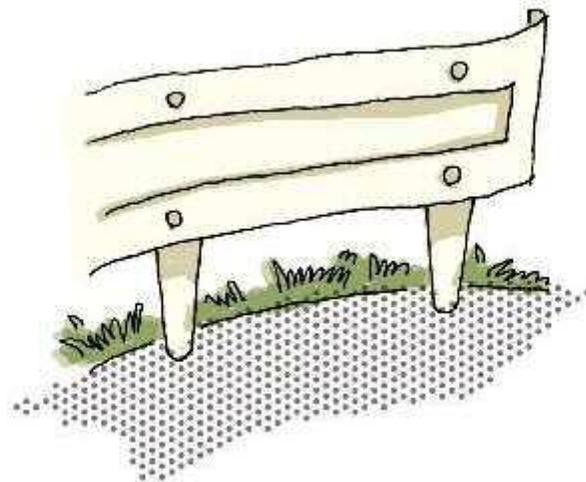
- 定期的に巡視

隣接する民間所有の法面等

- 現地確認
- 学識経験者や専門家の意見を伺う

市長答弁の要旨

【民有地の管理の原則】



自然災害による民有地の土砂崩れ、法面崩壊は所有者が適正管理を行う。

市長答弁の要旨

【法規制による安全確保】



急傾斜地法

災害対策基本法

土砂災害防止法

宅地造成等規制法

- 危険性の調査
- 一定の開発の制限

市長答弁の要旨

【老朽空家等対策の取り組み】



空家等対策特別措置法

- 空家等対策計画
- 空家等の適切な管理等に関する条例

市長答弁の要旨

【市による災害復旧の課題】



自ら災害復旧した方との公平性
客観的基準作りが難しい
巨額な財源が必要

総合相談窓口の設置

市長答弁の要旨

【今後の取り組み】



国の法整備など必要

政令市の市長が集まる席で問題提起

指定都市市長会として国へ要望

議員の意見・要望



- 災害の対応を行った他の自治体の調査
- 総合相談窓口の早急な開設
- 相談窓口では7月の被災者の相談も応じてほしい
- 被災者への対応は丁寧をお願いしたい

